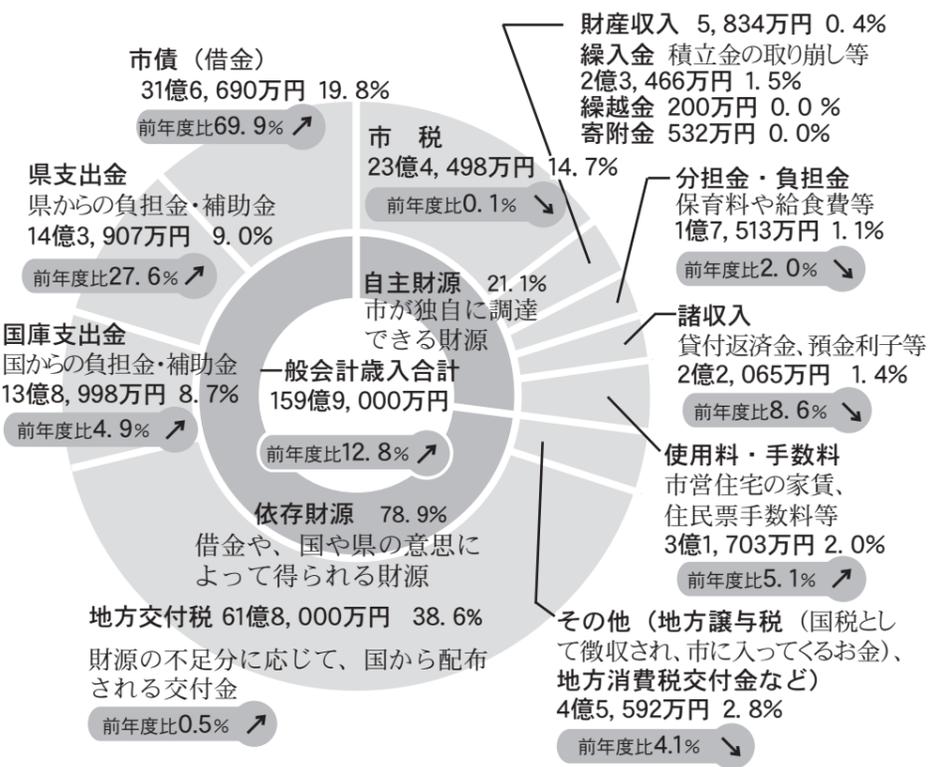


一般会計



歳入

一般会計歳入は、景気低迷により、市税が減少しています。が、地方交付税は地域活性化・雇用等臨時特例費の創設による別枠加算や、地方交付税の振替財源としての臨時財政対策債(市債)の増額により、歳入の一般財源等は確保されています。そのため、歳入不足を補うための財政調整基金の取り崩しはありません。

平成22年度香美市の予算 一般会計 159億9,000万円

香美市の予算についてお知らせします。



さくらてんし
©やなせたかし

3月定例議会で平成22年度の予算が決定されました。一般会計は159億9,000万円で、前年度と比べ18億1,400万円(12.8%)の増となっています。

予算編成においては、将来にわたって持続可能な財政運営を行うため、昨年度から導入した一般財源額を配分する枠配分予算や普通建設事業費の総枠の設定を引き続き行いました。

本年度も、限られた財源のなか、中期財政計画の柱である防災対策基盤整備、地域に根ざした産業の育成、少子・高齢化対策を含めた地域福祉施策の充実および庁舎建設関連や、住環境の整備等を重点施策とし、安全で安心なまちづくりを目指し取り組んでいきます。

各会計重複額
13億6,646万円

平成22年度
香美市予算
248億6,681万円

一般会計
159億9,000万円

特別会計
84億9,303万円

公営企業会計
3億8,378万円

各会計重複分を除いた
純計は235億35万円

一般会計

収益のない事業(福祉・教育・道路整備など基礎的な行政サービス)を行う会計で、主に市税でまかなわれます。香美市では地方交付税等の依存財源が大部分を占めています。

特別会計

国保税など特定の収入があり、一般会計と分けて経理することで収支を明確にした会計です。(表中の△は前年度比マイナス)

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険特別会計	40億790万円	△4.5%
後期高齢者医療特別会計	3億9,237万円	3.7%
老人保健特別会計	115万円	△72.6%
介護保険特別会計(保険事業勘定)	28億3,416万円	2.8%
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	1,313万円	2.8%
簡易水道事業特別会計	4億5,176万円	14.5%
公共下水道事業特別会計	3億9,444万円	△35.8%
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億7,799万円	△7.7%
農業集落排水事業特別会計	2億2,013万円	11.7%

公営企業会計

民間企業と同じように事業で収益をあげて運営している会計です。

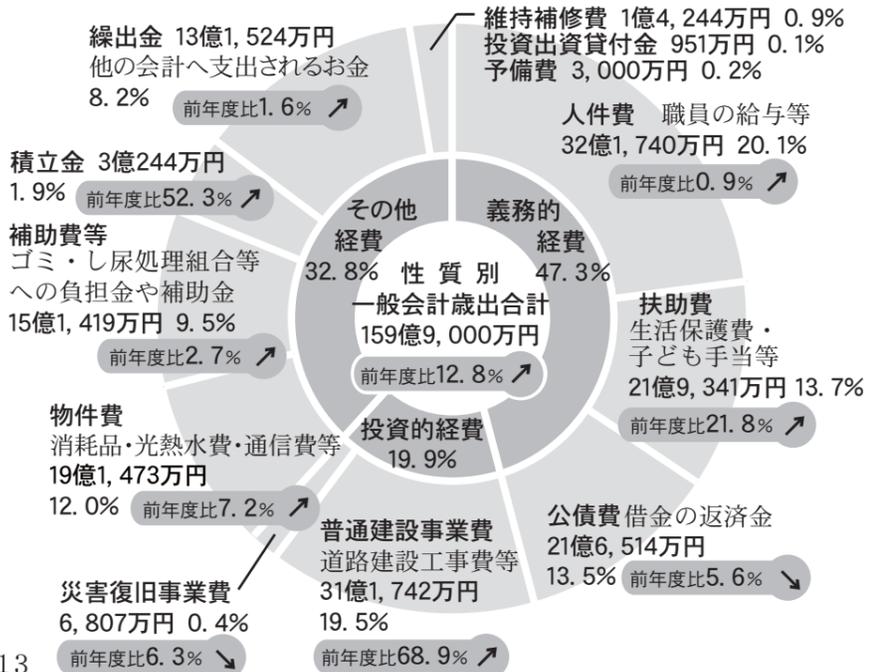
水道事業 3億5,709万円(対前年度比 6.1%減)

工業水道事業 2,669万円(対前年度比 1.0%減)

歳出

一般会計歳出は、市役所新庁舎・新保育園(土佐山田町北組西)の建設や、地上デジタル放送に対応するため、の共聴施設の整備、子ども手当の創設等により、前年度より12.8%増となっています。

目的別に歳出を見ると、総務費が前年度比91.5%増と大幅な増額となりました。これは、地上デジタル放送の共聴施設整備事業や、市役所新庁舎建設事業等への対応費用の増額のためです。民生費は、新保育園の建設や、子ども手当の創設等への対応のため、23.8%増となっています。



【問い合わせ先】 財政課 ☎53-3113

目的別一般会計歳出	金額	前年度比
議会費	1億4,826万円 0.9%	前年度比6.8% ↓
民生費	49億8,914万円 31.2%	前年度比23.8% ↑
農林水産業費	8億4,407万円 5.3%	前年度比1.0% ↓
土木費	9億1,276万円 5.7%	前年度比13.4% ↓
教育費	9億6,053万円 6.0%	前年度比44.0% ↓
公債費	21億6,514万円 13.5%	前年度比5.6% ↓
総務費	37億3,572万円 23.4%	前年度比91.5% ↑
衛生費	11億5,053万円 7.2%	前年度比7.3% ↑
商工費	1億6,730万円 1.1%	前年度比11.7% ↑
消防費	5億1,356万円 3.2%	前年度比13.3% ↓
災害復旧費	6,807万円 0.4%	前年度比6.3% ↓
その他	3億3,494万円 2.0%	前年度比45.0% ↑

主な事業(一部抜粋)

- (1) 市役所新庁舎建設事業(継続) 15億5,834万円
- (2) 少子高齢化対策を含めた地域福祉施策の充実
 - あったかふれあいセンター事業(新規) 997万円
 - 支援を必要とする高齢者・障害者などが、必要なサービスを受けられる体制づくり。
 - 子ども手当(新規) 4億1,795万円
 - 市営バスの高齢者(75歳以上)の乗車料金無料化(新規) (17ページに掲載)
- (3) 防災対策基盤整備
 - 災害時要援護者支援計画整備事業(新規) 264万円
 - 木造住宅耐震事業(継続) 1,392万円
 - (4) 地域に根ざした産業の育成
 - 鹿肉特産品開発・販路拡大事業(新規) 534万円
 - 鳥獣被害対策事業(継続) 1,861万円
 - (5) 住環境の整備
 - 共聴施設整備事業(継続) 1億4,653万円
 - 地上デジタルテレビ放送受信困難地域の解消のための共聴施設整備費用の補助。